

PSMA 陽性の遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対する放射性リガンド治療：プルヴィクト® 静注

当院ではこの度、進行した前立腺がんに対する新薬「プルヴィクト®（一般名：ルテチウムビピボチドトラキセタン）」を用いた放射性リガンド療法（RLT: RadioLigand Thertapy）を大分県内で初めて導入いたしました。これは、がん細胞に特異的に集まる物質に放射性同位元素を結合させ、体の内側から放射線で攻撃する画期的な治療法です。

1. 治療の仕組みと対象

前立腺がん細胞の表面にはPSMA（前立腺特異的膜抗原）というタンパク質が多く発現しています。本治療では、このPSMAに結合する薬剤を投与します。薬剤はがん細胞に集まり、そこから放出される放射線（ベータ線）が、がん細胞のDNAを切断して死滅させます。

治療の対象となるのは、ホルモン療法や化学療法などの標準治療を行った後に進行が見られる遠隔転移を有する去勢抵抗性前立腺がんの患者さんです。治療前には必ずPSMA-PET検査を行い、がん細胞にPSMAが十分に発現しているか（薬が効くタイプか）を確認する必要があります。現時点で、検査だけは福岡や熊本で実施する必要があります。

2. 放射線科との連携による高度な医療

本治療の特徴は、放射線科と腎臓外科・泌尿器科がタッグを組んで行うチーム医療である点です。

治療前には必ずPSMA-PET検査を行います。これは微量の放射性薬剤を用いた核医学検査であり、放射線科専門医が画像を詳細に読影し、薬剤ががん病巣に十分に集積するか（治療効果が見込めるか）を厳密に判定します。

また、治療薬自体が放射性物質であるため、その取り扱いや管理には高度な専門知識と設備が不可欠です。当院では、放射線科医や診療放射線技師が中心となり、法令に基づいた安全管理を徹底しています。

3. スケジュールと注意点

治療は6週間に1回、最大6回まで点滴を行います。投与後は体から微量の放射線が出るため、特別措置病室という専用個室に数日間（通常1泊2日程度）入院していただきます。入院中は放射線防護の観点から、医療スタッフの入室時間を制限する必要があります。そのため、身の回りのことが自分でできる（ADLが自立している）こと、特にご自身でトイレに行き、排泄・蓄尿の管理ができることが治療を受けるための必須条件となります。

当院は、腎臓外科・泌尿器科による全身管理と、放射線科による核医学治療の専門性を融合させ、難治性前立腺がんに対する「最後の砦」として地域医療に貢献してまいります。



令和7年度患者満足度調査の結果について



当院では、患者さんの満足度やご意見を把握するために、昨年11月に外来と入院の患者さんを対象に、「患者満足度調査」を実施いたしました。調査にご協力いただきました患者の皆さま並びにご家族の皆さまには厚くお礼申し上げます。以下に、調査結果の概要をご報告いたします。今回の調査で皆さまからいただいた貴重なご意見を全職員で共有し、今後も引き続き患者サービスの質の向上に努めてまいります。

サービス・国際化推進委員会委員長 波多野 豊

外来部門

令和7年11月4日～11月17日実施、回答者数1504人

■総合評価点 有効回答者数：1220人

「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

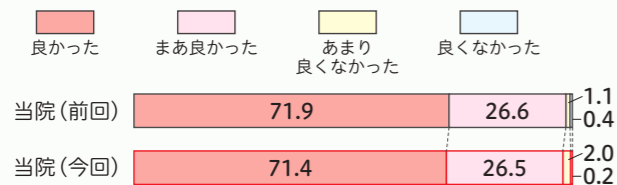
平均評価点 **81.0点** 前回調査との差 **-1.1点**
大学病院平均との差 **+0.1点**

■診察待ち時間 有効回答者数：889人

平均待ち時間 **67.7分** 前回調査との差 **+2.3分**
大学病院平均との差 **+11.6分**

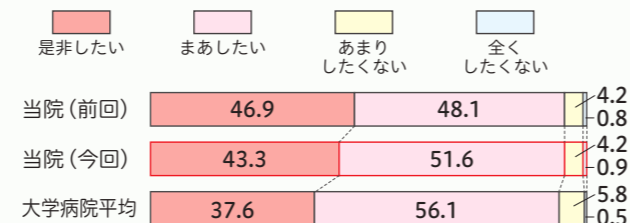
■受診満足度 有効回答者数：1279人

「当院を受診してよかったと思いますか」

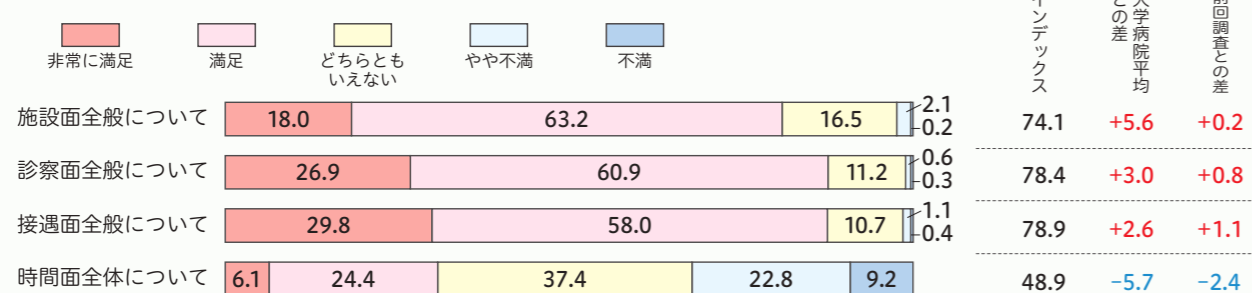


■紹介・推薦意向 有効回答者数：1251人

「知人等に、当院を紹介や推薦したいと思いますか」



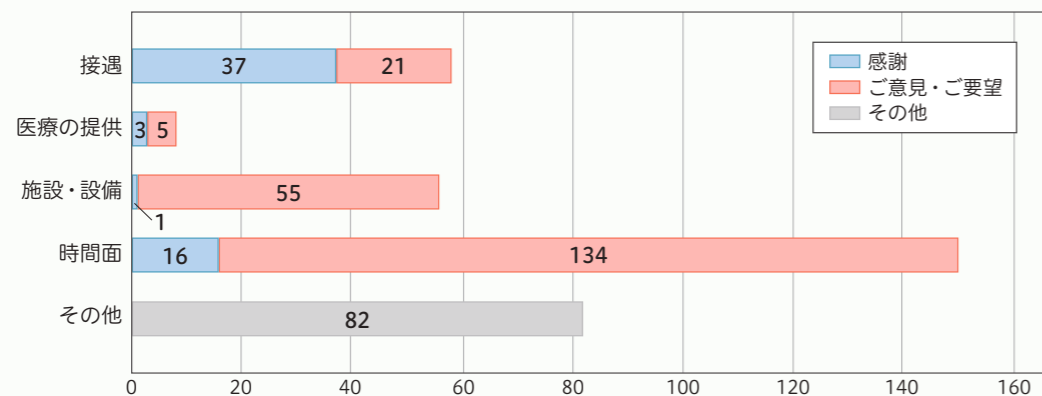
■個別項目の満足度



前回調査：令和6年10月16日～10月29日実施（回答者数：1504人）
大学病院平均：同内容の調査実施21病院の平均値（平均病床数：761床）

*インデックスは、「非常に満足」を100点、「満足」を75点、「どちらともいえない」を50点、「やや不満」を25点、「不満」を0点とした平均評価点

■外来自由意見 カテゴリ別件数（全354件）



入院部門

令和7年11月4日～11月25日実施、回答者数316人

■総合評価点 有効回答者数：301人

「総合的に当院を100点満点で評価すると、何点ぐらいになりますか」

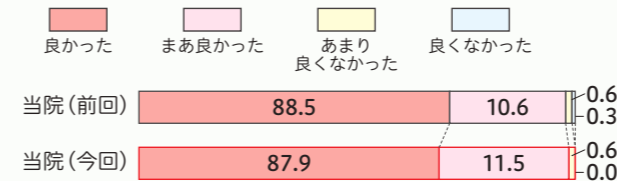
平均評価点 **91.1点** 前回調査との差 **+1.0点**
大学病院平均との差 **+4.0点**

■回答者の年齢 有効回答者数：287人

平均年齢 **64.3歳** 前回調査との差 **+3.0歳**
大学病院平均との差 **+5.2歳**

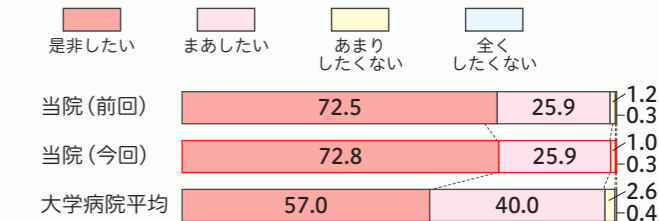
■入院満足度 有効回答者数：314人

「当院を受診して（入院して）良かったですか」

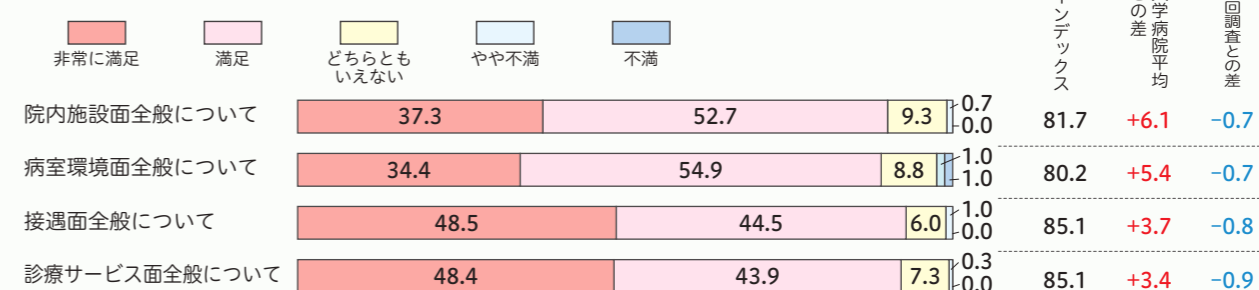


■紹介・推薦意向 有効回答者数：309人

「知人等に、当院を紹介や推薦したいと思いますか」



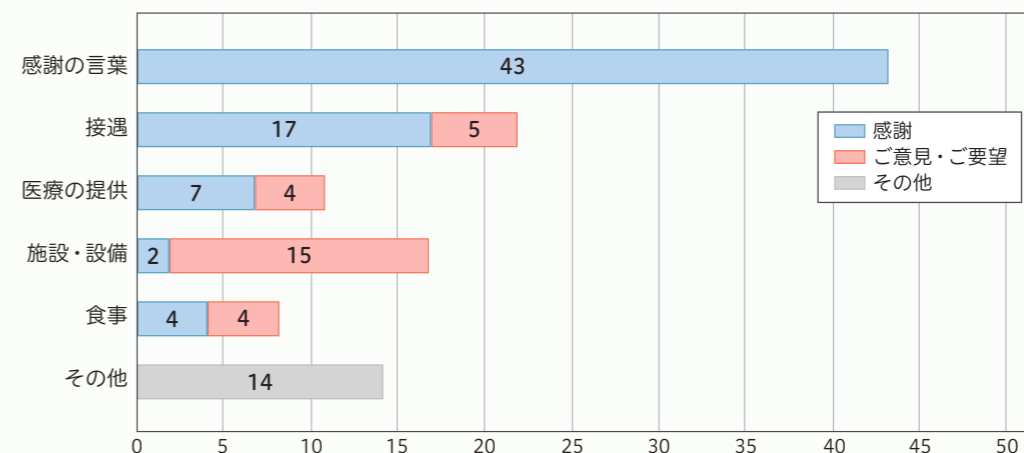
■個別項目の満足度



前回調査：令和6年10月15日～11月16日実施（回答者数：335人）
大学病院平均：同内容の調査実施19病院の平均値（平均病床数：760床）

*インデックスは、「非常に満足」を100点、「満足」を75点、「どちらともいえない」を50点、「やや不満」を25点、「不満」を0点とした平均評価点

■入院自由意見 カテゴリ別件数（全115件）



ラウンジ・ケアメイクルーム

令和8年2月より、外来棟2階奥のエレベーター近くにある以前ラウンジだった場所を「ラウンジ・ケアメイクルーム」と名称を変更し、患者さんが休憩できる場所として整備いたしました。

また、室内に「授乳スペース」と「アピアランスケアスペース」を新たに設けましたので、こちらもご利用ください。

<授乳スペース>

●本院の外来には、授乳室が外来棟1階に1ヶ所しかなく、大変ご不便をおかけしておりましたが、2階のラウンジ・ケアメイクルーム内に「授乳スペース」を設けましたので、ご利用ください。

<アピアランスケアスペース>

●アピアランスケア（外見ケア）スペースは、治療に伴う外見の変化について気軽に相談できる場所です。ウィッグや帽子の試着等の相談、皮膚や爪トラブルの対処方法に関する情報提供、補正具や助成制度などの情報提供をがん相談支援センターの職員が相談無料で行っています。

予約は不要ですので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

なお、アピアランスケアスペースでは診療行為や商品販売は行っておりません。

(文責：医事課長)



病院で行われている治験や臨床研究のお知らせ

臨床研究は、新しい治療法や薬、検査方法が安全で効果があるかを確かめる医学研究です。病院で行う臨床研究では、患者さんの協力を得て、現在より良い治療法の確立を目指します。参加は自由で、説明を受けて同意した場合にのみ進み、参加しなくても診療が不利になることはありません。得られた情報は厳重に管理され、個人が特定されることはありません。

当院では現在、治験39件、製販後臨床試験2件を実施しています（詳細は病院HP参照）。一般に“治験”として知られるⅡ～Ⅲ相試験に加え、新しい薬が初めて人に投与されるⅠ相試験にも取り組んでいます。Ⅰ相試験は薬の安全性や体内動態を調べる重要な段階

で、複数の参加者を同条件で一度に実施します。当院のClinical Trial Unit (CTU) が安全管理や検査体制を支え、質の高い試験を可能にしています。現在、パーキンソン病、肝機能低下の患者さん、健康な方の協力を募集しています。



(文責：臨床薬理センター 和久田 浩一)

「入院時重症患者対応 メディエーターってどんな仕事？」

当院では、令和7年10月から、救急や集中治療（救命救急センター・ICU・NICU）を受ける患者さんと、そのご家族、関係者の皆さまをサポートするために、専門の「医療メディエーター（医療対話の調整役）」が支援する体制を整えています。

突然の病気やケガで救急受診するだけでも不安が大きいものです。さらに、患者さんが重症で意思疎通ができない場合、ご家族や関係する皆さまは心の準備がないまま、命に関わる大切な判断を求められることがあります。そのような状況で、患者さんと関係する皆さま方に寄り添い、医療者との橋渡しをするのが医療メディエーターの役割です。患者さんと、そのご家族、関係者の皆さまが抱く不安や疑問を丁寧に医療者へ伝え、解決につなげることで、皆さま方が納得した形で治療を続けられるよう支援します。

医療メディエーターは、患者さんの治療に直接関わらない立場の経験豊富な看護職が担当します。治療方針や内容について理解しやすいように補足説明し、患者さんと関係する皆さまが、医療者に意向を伝えやすくなるようお手伝いします。入院後に病棟や部門の担当医療者よりご案内があります。ご希望の際は、担当医療者へ声をおかけください。

現在2名の医療メディエーターが、平日8時30分～17時15分の時間帯で対応しています。対応の多くはご家族との面談ですが、1回に限らず、必要に応じて複数回対応させていただくこともあります。また、医療者からの説明に同席したり、患者さんとの面会に同席し、その後のお気持ちを伺ったりしながら、ご家族や関係する皆さまが不安な気持ちを抱えたまま時間を過ごすことがないように、寄り添っていきます。また、多職種とも連携して、切れ目のない支援が受けられるようにしていきます。

詳しい内容については、担当の医療者、または医事課相談窓口までお気軽にお問い合わせください。



あなたの声を
お待ちしております

良い病院になるために

患者さんの声は、要約して載せておりますので
ご了承ください。



声

予約時間が守られないことがあります。また、私より
番号が後の方が先に呼ばれることもあります。予約制
ではなく、先着順診察へ変更してはいかがでしょうか。

回答

診察時間に関して、大変ご迷惑をおかけしています。
診療科によっては、処置内容、採血・CTの結果が出る時
間の違いなどから、順番が前後することがあります。長
く待たれている場合は、看護師や受付にお声掛けくださ
い。個別に状況説明させていただきます。



声

アプリ決済を9時から使えるようにしてほしい。
登録したのに使えなくて残念です。

回答

ご不便をおかけして申し訳ございません。
ウェルコネのアプリ決済（後払い会計）は時間帯を問わずご利用
可能ですので、会計窓口にてアプリで支払うことをお伝えく
ださい。また、窓口が混雑する時間帯（10時～15時）は専用
の会計レーンを設けておりますので、ご利用ください。



＼感謝の声／

声

出産の際、先生の迅速な判断のおかげで母子ともに救われました。
手術室でも声をかけていただき落ち着くことができました。術後も
助産師さんのフォローをはじめ、スタッフの皆様に対処して
いただきました、本当にお世話になりました。また、いつも美味し
いご飯をありがとうございました。

回答

温かいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。
当院では、緊急時にも迅速かつ確かな判断ができるよう、日頃からチーム医療の連携を強化し
ております。今後も、患者さんの安全を第一に、質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一
同努めてまいります。



（文責：病院長）



大分大学医学部附属病院

〒879-5593 由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 TEL 097-549-4411(代)
大分大学医学部附属病院ホームページ <http://www.med.oita-u.ac.jp/hospital/index.html>

これまでの「かけはし」は、医学部附属病院ホームページからご覧いただけます。

